

綱領

- 吾々は、社会正義に立脚した良識ある労働運動を通じて、労働者の権利を守り、生活の安定と向上をはかる。
- 吾々は、常に暴力と独裁を排し、自由にしての健全なる発展を期す。
- 吾々は、赤十字の民主化と近代化を促進するに努め、人道的任务の達成に寄与する。

日赤新勞

第70号
昭和50年
7月25日
発行

発行所
日本赤十字
新労働組合連合会
(日赤新勞)
東京都港区西久保
広町35(庚申ビル)
TEL.03-432-1089
発行責任者
等々力重信

昭和50年度 第1回中央委員会開く

とき 昭和50年6月29日～30日
ところ 広島県三原市三原観光ホテル

賃上げ 大会方針で 早期実現へ

週休二日制 規約問題などを討議

昭和五十年六月二十九日、三十日の両日に亘り、三原観光ホテルにおいて、五十年年度第一回中央委員会が開催された。まず議長に高橋利行(福島日赤)、副議長に永富俊男(筑前山田日赤)の両氏を、また書記に富永葉子(浜松日赤)氏をそれぞれ選出、ひきつづき各部報告、一般経過報告の後、二日間に亘る討議が行われた。

- 一、昭和五十年年度ベースアップについて
第十四回定期大会において決定されている方針とおりの要求に向って、おし進め、なお交渉内容については、中央委員との連絡をとりながら、早期実現をはかる。
- 二、昇格基準の改善について
本社六項目のうち五項(五十歳の年齢制限)並びに六項(心身の故障)の二項目を削除の上有利な方向に進める。
- 三、事務所の移転並びに事務職員採用について
現事務所の立退き問題が起っているため、中央委員の意見を参考にして、対策を本部が検討する。
- 四、週休二日制について
資料をもとに検討を加えたが次のような意見に要約された。
(一)全施設の同時実施が望ましいが、先ず出来る所から実施していく。
(二)当面週一日制で時間短縮を進める。
(三)週休二日制についてはなお今後引続いて検討する。



—国際婦人年世界会議の最中—
50年度 第1回 婦人部代表者会議 開く
6月22～23日 名古屋市観光会館

昭和五十年六月二十一日、二十三日の両日に亘り、昭和五十年年度第一回婦人部代表者会議を名古屋市観光会館において開催。議長に菅野ヒロエ(岡山日赤)さん、書記に渡藤リツ子(盛岡日赤)さんを選出、代表者、オブザーバー等多数出席のもと、盛會裡に進められた。

一、執行委員長あいさつ
本年は国際婦人年に当っており、メキシコにおいてその行事が行われているのであるが、たまたま日赤新勞が、婦人部代表者会議をこの時期に開催したことは、意義深いものがある旨を述べ、お互に手をとり合って、しっかりと大地を踏まえ、確固たる信念のもと、力強く前進するよにとのあいさつがあった。



なごやかな着付教室風景

二、議事
(一)週休二日制について
執行部より、週休二日制は世界的な勢であり、日赤のみが無関係であってはならないので、真剣に取り組みべき時期に来ていることを強調し、わが国における週休二日制を実施している病院の実情調査と、五十一年における国家公務員の現在の考え方を説明した。

これに基づきいろいろ検討を加えた結果、婦人部としては、先ず人員の増加、複数夜勤八日制の実施等の後、週休二日もよりから、早急に実施することを決定した。

(二)保育所について
○保育所の拡大充実
○育児給食時間を与えるよう交渉すること、その他いろいろ意見がたが結論に達しなかった。

三、討論会
「婦人部から見た、職場と家庭」
○男性の一層の協力が必要であること。
○乳幼児がある場合育児した保育所が必要であること。
○生理休暇を円滑に活用できるようにすること。
等その他懸念のないいろいろな意見が出され、所定の時間をオーバーするような状況であった。

着物着付教室も
加藤、渡辺両氏の終始物やわらかな説明と指導があり、婦人部出席者の中からモデルを選定し、あでやかな日本の情緒豊かな着物をいろいろな型で実演した。



50年度初の第1回中央委員会

五、組合規約第二十七条について
特別な支障がないので、現行どおりとする。

六、その他
(一)規約第二十八条について
(この件は次期中央委員会に持ち越す)
(二)育児休業制度の新設について(今後検討していく)
(三)学際、教務職員への処遇改善について(事情調査、研究すること)
(四)看護士の夜勤手当について(各施設の実情調査を行い、不合理面の改善を交渉すること)
(五)血液センターの職業病調査について(一部の血液センターにおいて、職業病に類する疾病が見られるので、実情調査を行うこと)

人事院調査 昭和50年5月

昭和四十九年民間企業の勤務条件制度等調査の概要。

(一) 週休制の形態別企業数割合

何等かの形の週休二日制を採用する企業は引き続き増加... 昭和四十六年八月二・七%、四十七年十月二・九%、四十八年十一月四・九%、四十九年四月六・三・九%に達し

民間企業の週休二日制と労働時間、休日について

五八・八%と急増を比し一四・八%の増... 昭和四十六年以來一年経過ごとにほぼ倍増する状態を示して... 昭和四十九年四月の調査によれば十月現在でこれと全体の四分の三以上を占めるに至り、一方、一〇〇人以上五〇〇人未満の企業では六一・七% (四十八年十月調査では四五・五%、四十九年四月調査では五五・四%)と、特に急速な普及状況を示している。(別表1参照)

別表1 週休制の形態別企業数割合 (管理部門) (%)

Table with 6 columns: 週休制の形態 (企業規模), 計, 週休1日制, 週休1日半制, 週休2日制, その他の週休制. Rows include 規模計, 48年調査, 500人以上, 48年調査, 500人未満, 48年調査.

(注) 48年調査とは昭和48年10月時点の民間企業の勤務条件制度等調査をさす。以下同じ。

(参考)

Table with 8 columns: 調査年月, 46年8月, 47年4月, 47年10月, 48年4月, 48年10月, 49年4月, 49年10月. Row: 2日制普及率.

別表2 週休2日制の実施形態別企業数割合 (管理部門) (%)

Table with 7 columns: 週休2日制実施企業計, 完全, 月3回, 隔週又は月2回, 月1回, その他. Rows include 規模計, 48年調査, 500人以上, 48年調査, 500人未満, 48年調査, and a sub-table for 100% implementation.

(二) 週休二日制の実施形態

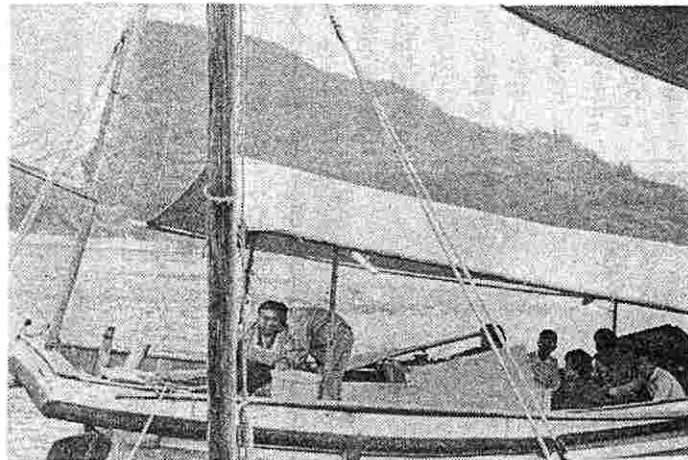
週休二日制を実施している企業を一〇〇としてその実施形態をみると、月一回が二六%、隔週または月二回が五二%、月三回が三%、完全が九%となっており、月一回を上回る隔週または月二回以上の形態は計六四%となっている。

四十八年十月調査との比較では、月一回が一・二%減少しているのに対し、隔週または、月二回が六%、完全が三%それぞれ増加しており、全体として週休日数の多い形態へと、漸

瀬戸内海でつり大会

日赤新 中央委開催の前日

第一回中央委員会の開催 (二十八日、組合員相互の親睦を目的として、月二十九日(三十日)の前日)



つりあげた新鮮な魚に舌づつみ

当日は各ブロックより参加の釣天狗は思いおもいの服装をして、小雨の降る中を釣場に向って出船した。

約三時間後、釣場に着くと、どちら雨もあがり上々のコンディションだったので、日直の船前を見せんものゝ姿を垂れると、キス、コチ、タコ、インモチ等が面白いように釣れた。昼になると、さしもの梅雨空も太陽が顔を出したので、瀬戸内海に浮かぶ美しい島々をながめながら、釣りたての新鮮な魚のサンミと、船頭のつりみせうた「魚ははんに舌づつみをうち、本日参加の女性釣天狗も交え談笑の裡に親睦を深めた。

チヨ一助



次移行していること、上の形態は、五〇〇 (おいても計六三%と二八%) を大きく上... 規模別にみると、一〇〇人以上五〇〇人以上一、二(参照) 隔週または月二回以上 〇〇人未満の企業に 七%、五〇〇人未満